

【様式 2】

平成 1 3 年 度 授 業 実 践 結 果

学校名：岐阜県立土岐紅陵高等学校

授業者等	授業日	平成 1 4 年 2 月 2 2 日	学 年	1 年 生 美術選択者
	授業者	市 岡 規 子	教 科	美 術
	校 種	高 等 学 校	単 元	音からのイメージ表現
	ねらい	生徒一人一人が、自ら選択した音とその表現作品、作品解説をビデオに編集することにより作品完成のまとめとし、発表・講評会をする。		
授業の流れ	2 月 2 0 日（水） ・ 事前準備として、音の確認と作品を解説するためのまとめをする。			
	2 月 2 2 日（金） ・ 教員は C D カセットデッキを用意。生徒は黒板の前に立ち、一人ずつ作品のイメージに用いた音を機器で流しながら、完成した「音からのイメージ表現」の作品を見せる。具体的な作品のイメージや苦労した点・反省点等を交えながら作品解説をし、美術選択者全員に発表する。 ・ 教員は、その発表をビデオに録画する。			
考察	・ 生徒の実態・興味・関心を考え、音と美術の融合を狙った単元だったため、作品のまとめとして、「音」と「平面作品」が一つにまとめられた形式にする必要性があった。単なる作品だけの発表ではなく、音を流しながらの発表会は、発表を聞いた生徒たちも質問を含め作品を講評し合う意味においては効果的だったように思われる。 ・ 教員は、作品集として保管可能であること、生徒の評価をする上でもビデオを鑑賞することで、より生徒の表現したかった内容が確認できたのでよかったと思う。 ・ 1 時間で全員分の発表・編集ができなかったため、時間配分は要検討。			

I T 活用が分かるように記述願います。